

報告書

東日本大震災(2011年3月11日 M9.0)により被害を受けた集合住宅の現在の状況を報告します。

建物概要: RC造14階建 1976年(昭和51年)建築 築35年 杭基礎 杭長24m 所在地: 宮城県仙台市宮城野区

過去(1978年宮城県沖地震)に被害を受け、改修工事が行われた。

3月12日の調査で、短辺方向に14Fで400mm程度の傾斜、1Fスラブも傾斜し杭に被害ありの様と報告された。

その後の調査では、傾斜が進行していると報告された。

4月に半壊から全壊判定に変更され、2011年内に解体の着手が決定している。

応急危険度判定結果: 危険 注記: 基礎構造に重大な損傷を受けている可能性が高く、又、余震に伴い構造耐力上
主要な部分の損傷状況が悪化の一途をたどっています。

建物解体報告

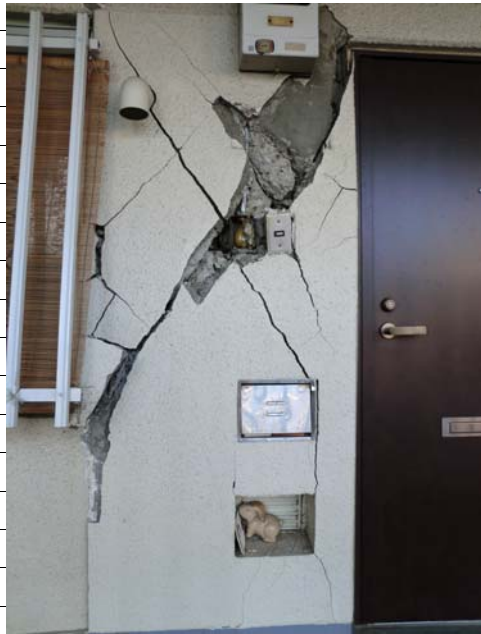
最大70cm傾いた建物は、2011.12解体されました。



・写真右の建物が左に傾斜している



・非構造壁のせん断破壊



・非構造壁のせん断破壊
配管、埋設物を通過して破壊が生じている



・非構造壁のせん断破壊(拡大)

写真撮影: 2011年11月